

関西聚 活動報告書



活動名:自然学習ゾーン整備

活動日:2021.7.24(土)15:30~17:00

リーダー名:伊東 俊廣

報告者:伊東 俊廣

参加者:スタッフ6人、お手伝い(岡さん)、参加者3人、美交工業1人 合計11人
 スタッフ:大川 英登、山本 勲、小久保 広宣、林 俊、藤浦 真由美、伊東 俊廣
 参加者:大人1人 子供2人

活動内容 :

1. カブトムシの飼育箱の成虫確認及び放虫

これまでは、岡さんと魚谷氏が餌やりをやって来ていたが、かなりの個体が死んだとのこと。
 本日の結果としては、

- ・2つがいをプラスチックケースに残し、現在の餌がなくなるまで飼育する。無くなり次第、飼育箱を開放し逃がす。(多分卵を産んでくれていると思われる)
- ・11匹を参加者と一緒に森へ放虫した。

2. モッパちゃんの森の植栽樹木への水やり

・このところの好天で植栽樹木の周辺もカラカラに乾燥しており。大々的に水やりを実施
 トラックに600リットルと300リットルのタンクを用意してもらい、参加者の応援も得て
 バケツ作戦で水やりを行った。

・来週にも再度魚谷氏が水やりを実施する予定。

3. 昆虫調査及び草本調査

昆虫調査:24種観察

草本調査: 昆虫保護ゾーンで13種、ギャップで8種観察

4. ススキの移植

・和歌山フィールド参加者の協力で、和歌山からススキの苗を調達。推奨される移植時期でないが、バックヤードで鉢に移植した。(3鉢)

・昆虫保護ゾーンの移植予定場所には、セイバンモロコシが勢力を広げていた。

活動報告・感想など

植栽樹木の水やりには、カブトムシの放虫を終えた参加者(子供2人も)が応援してくれ、それぞれ
 の木にバケツ数杯の水をいれた。この天候が続くととても足りないが、台風の雨に期待。

この最中に「カブトムシがいる」と子供の声。放虫したカブトムシより大きいようで、自然のサ
 イクルの中で育っていると思いたい。